

産業団体や地域の関係者との意見交換の状況について

- 情報連絡会でとりまとめた論点整理や今後の進め方について、産業団体、地域関係者等へ説明するとともに、鉄道貨物輸送の現状や課題認識などについて意見交換を実施。

実施概要

【産業団体との意見交換】

8/ 8（火） 北海道産業団体協議会

（北海道農業協同組合中央会、北海道漁業協同組合連合会、
北海道木材産業協同組合連合会、北海道経済連合会、北海道商工会連合会、
北海道商工会議所連合会、ホクレン農業協同組合連合会）

【地域の関係者との意見交換】

8/30（水） オホーツク地域

10/16（月） 十勝地域

10/17（火） 上川地域

各地域 市町村、商工会議所、
商工会、農業団体

主な意見

- 我が国の経済とともに地域産業を支える社会インフラであり、食料安全保障や国民の命を守るといった全国的な観点から検討が必要。
- 地域の基幹産業にとって鉄道貨物輸送の果たす役割は大きい。
- 道外への移出だけでなく、生活物資の移入など生活にとっても鉄道貨物輸送は必要であり、今後、そのような幅広い視野、視点で議論いただきたい。
- トラックドライバー不足、2024年問題などの課題への対応や、地球温暖化対策の観点からも、鉄道貨物輸送の維持・確保は重要。
- 「函館一長万部」間について、関係者間で「貨物鉄道機能を確保する方向性が妥当ではないかとの点に異論はなかった」こと等を確認したことについて評価。
- 引き続き、検討状況などに関する丁寧な情報提供とともに、地域からの意見を聞いていただきたい。